

村田高等学校コンピュータ部アプリチーム

令和7年度全国パソコン甲子園に挑戦！

「パソコン甲子園2025」上位8チーム選出 全国大会出場

モバイル部門テーマ「地域創成～アプリでつなぐまち・ひと・しごと～」

自分たちの学校生活と、村田町の地域創成に関わる共通課題をチームで話し合った結果、登下校における「交通の不便さの解消」という結論に達しました。そこで、バス以外に村田町の交通サービスについて調べると、「くらりん号」というデマンドタクシーがありました。ただし、町民が町内でしか使えないサービスだったので、私たちは、生徒が学校の登下校で使えるような新しい交通サービスのアプリを作ることはできないかと考え、生徒と学校をつなぐ乗合スクールタクシー「スクタク」を企画しました。

この企画を簡単にスライドにまとめ、まずは村田町のまちづくり振興課へ提案と取材に行きました。すると、「隣接する自治体やタクシー会社との連携、町民の理解を得られるかなど、行政上の課題はあるが、町の課題を解決できる素晴らしいアイデアです。」という意見をいただくことができました。また、村田町のタクシー会社へ取材に行くと、「現在、タクシー業界は瀕死状態であり、もし、この企画で補助金が出るのならば、地域活性化の良い起爆剤になるかもしれない。若い君たちが、町、県、国を動かしてぜひ実現させてほしい。」と願いを託されました。

そして、私たちはアプリ開発に取り掛かりました。ただし、知識ゼロのど素人からの過酷な挑戦でした。コンピュータ部の顧問の先生の指導のもと、開発環境や言語、ギットハブ連携やクラウドサーバー、グーグルマッププラットフォーム等について学び、AIも活用しながら6カ月かけてデモアプリを完成させることができました。さらに、タクシー会社の協力のもと、正常に動くかどうかの実証実験も行うことができました。

完成した企画「スクタク」をパソコン甲子園に応募すると、予選では見事に全国の上位8位に選出されました。そして、11月8日9日に福島県会津若松市にある会津大学で行われた全国大会では、入賞には至りませんでしたが、タクシーアプリ「GO」の開発に携わった企業「株式会社ソニックス」さんの目に留まり、実用化に向けて動き出すことになりました。

役場へ取材と提案



実現可能だが、
行政上の課題あり。

タクシー会社へ取材



タクシー業界は瀕死状態。
君たちが町、県、国を動かして!!

パソコン甲子園全国大会出場 上位8チームに選出!!



タクシーアプリ「GO」の開発企業と
「スクタク」実用化に向け共同開発中!!



Sonix



・「MIYAGI ZEBRA LAB ビジネスピッチコンテスト事業構想アワード」優秀賞

コンピュータ部アプリチーム（高瀬岳、遠藤煌星、渡邊康輔）

11月29日に行われた、宮城県主催「MIYAGI ZEBRA LAB 事業構想アワード」において、本校コンピュータ部が構想した「乗合スクールタクシー（スクタク）」の企画が「優秀賞」を受賞いたしました。これにより、(株)Wasshoi Labによる伴走支援プログラムに参画することとなり、「スクタク」のアイデアの実現に向けて動き出すことになりました。



私たちの企画「スクタク」で、以下の成績も

・「全国情報教育コンテスト」企業賞（AI技術賞コエテコ by GMO）

コンピュータ部アプリチーム（渡邊康輔、高瀬岳、遠藤煌星）

<賞の評価ポイント>

AI・インターネット技術を目的に応じて効果的に活用し、新しい価値や解決策を生み出しているかを評価します。また、技術の理解度や活用の工夫に加えて、将来の社会や学校で応用可能な実践性があるかも重視します。

ブロック	受付番号	チーム名/名称	作品タイトル	所属
北海道・東北・関東	466	未来コウ成部	生徒と学校をつなぐ乗合スクールタクシーアプリ「スクタク」	宮城県村田高等学校

・「全国高校生マイプロジェクトアワード」全国ロールモデル賞 supported by しんくみ・トヨタ自動車

コンピュータ部アプリチーム（渡邊康輔、遠藤煌星、高瀬岳）



・「全国アントレプレナーシップ高校選手権 in 宮城」準優勝

コンピュータ部アプリチーム（渡邊康輔、高瀬岳、高橋蓮）

